

2025年1月期 決算説明資料 (中期経営計画進捗状況)

(第15期 2024年2月1日～2025年1月31日)



2025年3月14日

丸善CHIホールディングス株式会社

3159 <https://www.maruzen-chi.co.jp/>

I 2025年1月期 決算の概要

[1] サマリー／2026年1月期業績予想…………… 2

[2] 主要事業概況…………… 7

II 中期経営計画の進捗状況

[1] 2025年1月期の評価サマリー…………… 14

[2] 2025年1月期の施策…………… 20

Appendix……………31



I 2025年1月期 決算の概要

[1] サマリー／2026年1月期業績予想

I -1. 当期・2025年1月期 サマリー・予想比

- ▶ 当期・2025年1月期の売上は、受託図書館館数が堅調に推移した図書館サポート事業や、総合保育サービス(その他事業)が伸長したことから、**期初予想から1,057百万円増(100.6%)**となりました。
- ▶ 利益面では、総合保育サービスの成長や、店舗・ネット販売事業の収益構造改革が想定以上に進みましたが、図書館サポート事業での人材採用難や、出版事業で教科書や新刊売上が厳しく推移した結果、**営業利益は期初予想から▲5百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同+8百万円と、ほぼ期初予想どおり**となりました。

◆2024年2月1日～2025年1月31日

(単位:百万円)

2025年1月期	売上高	営業利益	営業利益率	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2024年度 実績	162,927	3,617	2.2%	3,681	2,194
2025年度 予想値 (2024年3月14日発表)	164,500	3,400	2.1%	3,350	3,900
実績(本日発表)	165,557	3,395	2.1%	3,454	3,908
対業績予想 増減	+1,057	-5	±0p	+104	+8
対業績予想 比率	100.6%	99.9%	—	103.1%	100.2%

I-2. 当期・2025年1月期 サマリー・セグメント別業績

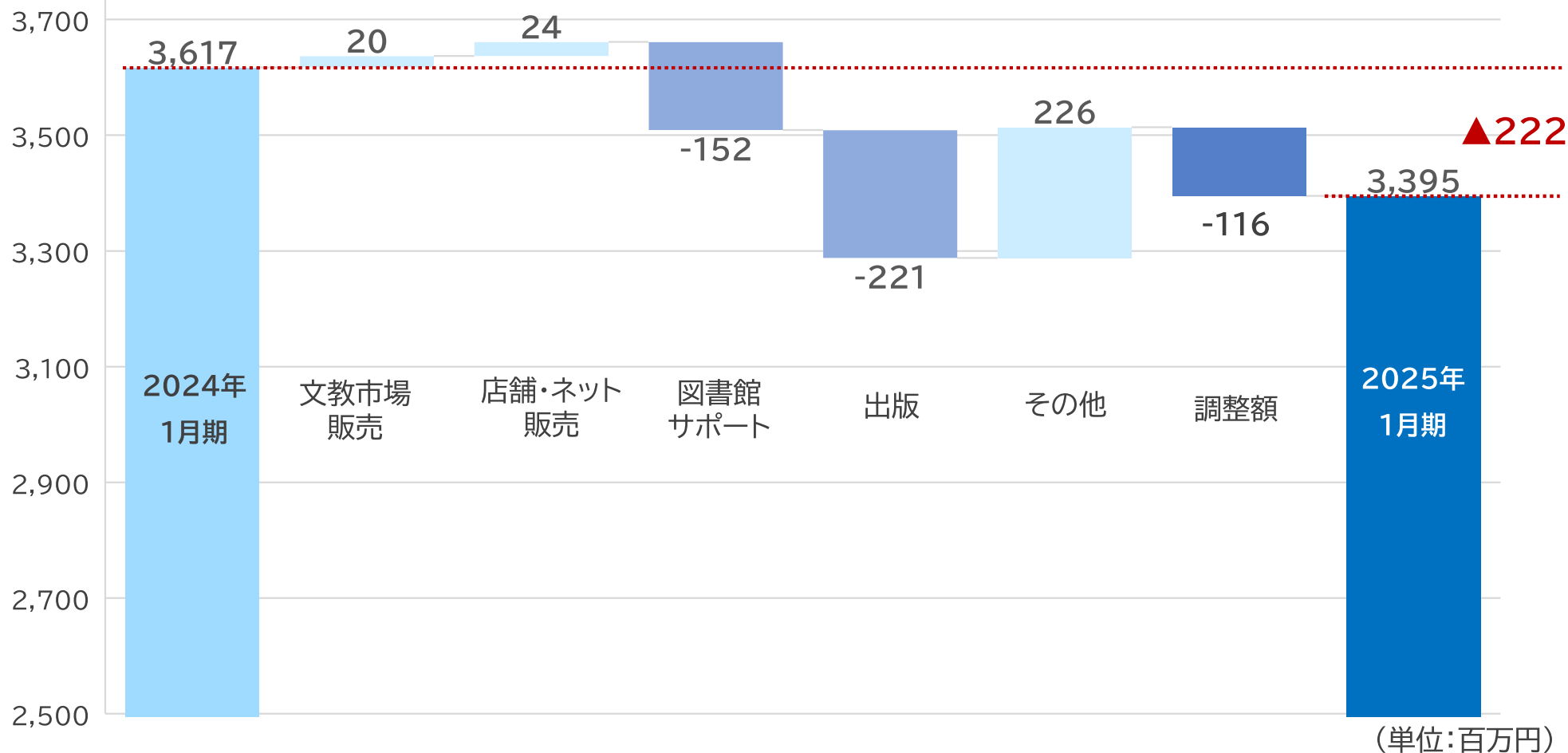
◆2024年2月1日～2025年1月31日

(単位:百万円)

連 結	売上高			営業利益		
	当期	前期	対前比	当期	前期	対前比
①文教市場販売事業	46,819	46,477	100.7%	3,250	3,230	100.6%
②店舗・ネット販売事業	66,085	66,243	99.8%	378	354	106.8%
③図書館サポート事業	37,682	35,666	105.7%	2,923	3,075	95.0%
④出版事業	3,641	3,868	94.1%	-107	114	—
⑤その他事業	11,328	10,672	106.2%	354	128	276.2%
消去又は全社	---	---		-3,402	-3,286	---
合 計	165,557	162,927	101.6%	3,395	3,617	93.9%

▶ 営業利益においては、店舗・ネット販売事業において、リユースFC事業や雑貨・文具など粗利率の高い商品の拡販、その他事業で総合保育サービスを中心に増加した一方、図書館サポート事業、および出版事業の減益が影響し、前年度に比較して営業利益は減少(▲222百万円)しました。

◆営業利益対前年増減



I -4. 来期・2026年1月期 業績予想

▶ 2026年1月期は、2025年1月期より売上、営業利益とも増加の見込みですが、親会社株主に帰属する当期純利益は、2025年1月期に多額の特別利益を計上したため、減益の見込みです。

◆業績予想

(単位:百万円)

2026年1月期	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期業績予想	175,000	3,600	3,500	2,300
2025年1月期 通期実績	165,557	3,395	3,454	3,908
当期実績 との比較	105.7% +9,443	106.0% +205	101.3% +46	58.8% -1,608

◆株主還元

【方針】

当社グループでは、総還元性向を株主還元の指標と位置づけており、経営基盤の一層の強化に努めながら、中期経営計画において示すとおり、2029年1月期までに**配当性向30%**の実現を目標とし、安定的かつ継続的な配当の実施に取り組んでおります。

【利益配分】

2026年1月期期末配当につきましては、2025年3月14日に公表いたしましたとおり、**1株当たり4円(1円増配)**の配当を実施する予定としております。

I 2025年1月期 決算の概要

[2] 主要事業概況

I-5. 主要事業概況 ①文教市場販売事業

(単位:百万円)

2025年1月期	当期	前期	対前期
売上高	46,819	46,477	100.7%
営業利益	3,250	3,230	100.6%
営業利益率	6.9%	6.9%	±0p

- 学術研究や教育向け、洋書や電子書籍を含む各種出版事業、情報資料の提供
- 研究者支援ソリューションの提供
- 図書館用書籍の販売、書籍データベース(TRC MARC)の作成、販売
- 教育・研究施設、図書館などの設計・施工、大学経営コンサルティングなど各種ソリューションの提供
- 大学内売店の運営、教科書販売

- 書籍関連では、公共図書館向けの書籍、TRC MARCの売上は前期並を維持した一方、大学等教育機関向けの教科書販売では、コロナ禍あけ以降の減少トレンドが継続しました。
- 電子図書館、電子書籍／教材は前期は堅調に伸びましたが、当期においては厳しく推移しました。
- 教育研究施設、図書館などの設計・施工事業では、施設改修や新棟建設などの完工数が前年から増加しました。
- 結果、売上高は対前期比100.7%の**46,819百万円**。営業利益は同100.6%の**3,250百万円**となり、ほぼ前期並みの売上、収益となりました。

I-5. 主要事業概況 ②店舗・ネット販売事業

(単位:百万円)

2025年1月期	当期	前期	対前期
売上高	66,085	66,243	99.8%
営業利益	378	354	106.8%
営業利益率	0.6%	0.5%	+0.1p

- 全国に「MARUZEN」「JUNKUDO」、および「MARUZEN & JUNKUDO」の3ブランドによる店舗網で、和書、洋書、文具・雑貨等の販売
- グループ全体の店舗数は111店舗

- ▶ ネット書店hontoの紙の通販事業終了の影響から微減収ですが、その影響を除くと増収となっております。書籍販売を堅調に推移させ、粗利率の高い文具・雑貨販売やリユース事業を成長させることで収益構造改革が進展しました。
- ▶ 書籍においては、2024年7月に自社運営による「丸善ジュンク堂ネットストア」をオープンし、「置き置きサービス」を開始。同年12月には「丸善ジュンク堂書店アプリ」をリリースしhonto通販終了後のサービス維持と、ネットを活用したサービスのさらなる拡充に取り組みました。
- ▶ 文具・雑貨販売においては、絵本の世界をモチーフにしたグッズ販売ショップ「EHONS」(今期5店舗オープン、合計8店舗)、ホビー系リユース事業である「駿河屋」FC店舗(今期3店舗オープン、合計6店舗)を、期初計画を前倒しするかたちで積極展開しました。
- ▶ 結果、売上高は、前期並みの(対前年比99.8%)**66,085百万円**、営業利益は対前期比106.8%の**378百万円**となりました。

I-5. 主要事業概況 ③図書館サポート事業

(単位:百万円)

2025年1月期	当期	前期	対前期
売上高	37,682	35,666	105.7%
営業利益	2,923	3,075	95.0%
営業利益率	7.8%	8.6%	-0.8p

- 公共図書館、大学図書館の業務(カウンター業務、目録作成、蔵書点検等)の請負
- 指定管理者制度による図書館の運営業務
- PFIによる図書館運営業務および人材派遣

- 公共図書館、大学図書館、学校図書館とも受託館数は堅調に増加し、図書館の受託数は、期初1,806館より、34館増加しました。(公共図書館624館、大学図書館246館、学校図書館他970館 2025年1月末現在。公共図書館、大学図書館とも、業務委託における当社シェアはトップクラス)。
- 受託数増加による売上増加の一方、とくに公共図書館における都市部を中心とした想定を超えた人件費の上昇や、光熱費等の上昇が、セグメント利益に大きく影響しました。
- 結果、売上高は、対前期比105.7%の**37,682百万円**、営業利益は、同95%の**2,923百万円**となりました。

I -5. 主要事業概況 ④出版事業

(単位:百万円)

2025年1月期	当期	前期	対前期
売上高	3,641	3,868	94.1%
営業利益	▲107	114	-
営業利益率	-	2.9%	-

- 『理科年表』等の理工系分野中心の専門書、事典、便覧等の刊行、および映像メディアの発売
- 絵本・童話などの児童書、図書館向けの書籍の刊行

- 理工専門書(丸善出版株)および児童書(株岩崎書店)は、前年度を上回る新刊271点(前年度241点)を刊行しました。
- 理工専門書においては、公共図書館向け商品や電子書籍や動画コンテンツに注力しましたが、大学等の教科書や映像メディアの落ち込みを補うことはできませんでした。
- 児童書においては、下期において刊行図書が「課題図書」選定されるなどの好機がありましたが、市場全体の冷え込みや売筋絵本の刊行遅延が大きく響きました。
- 結果、売上高は、対前期比94.1%の**3,641百万円**。営業利益においては、**▲107百万円**と営業赤字となりました。

I-5. 主要事業概況 ⑤その他事業

(単位:百万円)

2025年1月期	当期	前期	対前期
売上高	11,328	10,672	106.2%
営業利益	354	128	276.2%
営業利益率	3.1%	1.2%	+1.9p

- 書店、小売店向け、企画・設計デザイン、内装、什器等のトータルプランニング
- PC、スマートフォンの修理、システムサポートおよび各種周辺サービスの提供
- 総合保育サービス
- 会計・税務に関する電子専門書籍のサブスクリプションサービス

- 総合保育サービス事業(株明日香)は、人件費の上昇がみられるも、保育・子育て支援ニーズの拡大を背景に、増収増益となりました。
- Apple製品・PC修理等(グローバルソリューションサービス(株))では、不採算事業からの撤退による事業構造の立て直しが進んだことと、ホテルのセルフチェックイン端末などの無人機器の設置ニーズが伸長し、増益となりました。
- 書店・小売店向け設計デザイン・内装事業(丸善雄松堂(株)の事業部門)では、事業者の新店・改装意欲が回復基調にあり、増収増益となりました。
- 結果、売上高は対前年比106.2%の**11,328百万円**、営業利益は同276.2%の**354百万円**となりました。
- 新規事業である会計・税務に関する電子専門書籍の読み放題サービス「丸善リサーチ」は、サービス開始後1年で会員数が5,000名を超えるなど順調に成長しております。



MARUZEN CHI Holdings

I-6. 主要事業概況 グループ企業の紹介

セグメント:⑤その他事業

編集工学を応用し新たな価値を生み出す

編集工学研究所 EDITORIAL ENGINEERING LABORATORY

社名:株式会社 編集工学研究所

所在地:世田谷区赤堤2丁目15番3号

代表取締役:安藤 昭子

従業員数:13名

資本金:7,500万円

年商:約3.4億円(2024年度)

事業内容:編集工学の基礎研究およびその応用と実践ほか

- 編集力を身につける「イシス編集学校」の運営
- 人材育成、組織開発、理念浸透など、法人向け研修・コンサルティング事業
- クライアントの世界観を具現化し価値観を伝える空間やメディアの制作事業



思考を触発し、創発の場を生む
一畳ライブラリー【ほんのれん】

イシス編集学校

学び合うコミュニティで編集力を身につける【イシス編集学校】



次世代リーダーの育成・研鑽の場【ハイパーエディティングプラットフォーム「AIDA」】

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co.,Ltd.2025

セグメント:④出版事業

この1冊が未来をつくる

岩崎書店

社名:株式会社 岩崎書店

所在地:東京都文京区関口二丁目3番3号 目白坂STビル7階

代表取締役:小松崎 敬子

資本金:3,000万円

年商:約18億円(2024年度)

事業内容:児童書の企画出版、洋書絵本の輸入卸販売(絵本の家)

- 創業から91年。これからの世界を生きていく力となるような、知ることのおもしろさ、読書の楽しみ、驚きや発見などを子どもたちに届けられる本づくりをめざしています。

教科書でもおなじみの名作
モチモチの木



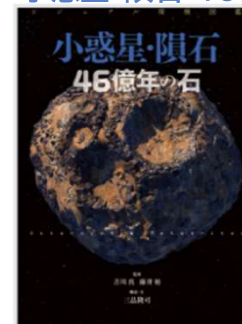
ナンセンス童話の金字塔!
はれときどきぶた



20周年! 大人気シリーズ
ルルとララ



産経児童出版文化賞大賞
ビジュアル探検図鑑
小惑星・隕石 46億年の石





Ⅱ 中期経営計画の進捗状況

[1] 2025年1月期の評価サマリー



Ⅱ-1. 中期経営計画の概要

➤ 2024年3月に策定した中期経営計画で掲げた3つの基本方針に沿った行動方針に基づき、成長推進の具体的なしくみを構築・運営することで成長戦略を実行しております。

目指す姿	知の生成と流通に持続的に貢献するための成長力と資本効率の向上				
基本方針	①グループ資産の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 当社グループとして取り組むべき協業テーマを定め、グループ横断型のプロジェクトチームにより推進する ➤ 長年に亘り培ってきたグループの“資産(商品・サービスやノウハウ、ブランド、人材等)”を有効に活用する ➤ これらを経営基盤として定常化するための仕組みをつくる 			
	②成長領域の創出	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新しい価値を生む可能性のあるビジネスプランやアイデアに対し、挑戦しやすく、事業が確実に成長ができるよう、事業育成・支援環境の整備をおこなう ➤ 市場の変化や顧客の行動変容に対し、最新技術やデータを活用した事業開発を推進する ➤ 既存事業の機能補完や提供価値の向上をスピード感をもって推進するため、事業提携やM&Aを積極的に実施する 			
	③収益構造の転換	<ul style="list-style-type: none"> ➤ セグメント別に事業ポートフォリオを定め、既存事業の収益性向上、および成長領域への積極的な投資をおこない、事業構造の転換を図る ➤ さらに、各事業目標達成のため、進捗管理の仕組みを整備する 			
数値目標 (2029年1月期)	売上高 2000億円	営業利益 85億円	営業利益率 4.2%	ROE 7.5%以上	—
セグメント別の数値は売上目標※	文教市場販売 500億円	店舗・ネット販売 700億円	図書館サポート 480億円	出版 50億円	その他 290億円

※セグメント別売上には、セグメント間取引調整額(-20億円)が含まれていません。

Ⅱ-2. 当期・2025年1月期の評価サマリー(財務目標)

▶ 計画初年でもあることから、中期経営計画にて掲げました財務目標はおおむね達成しております。

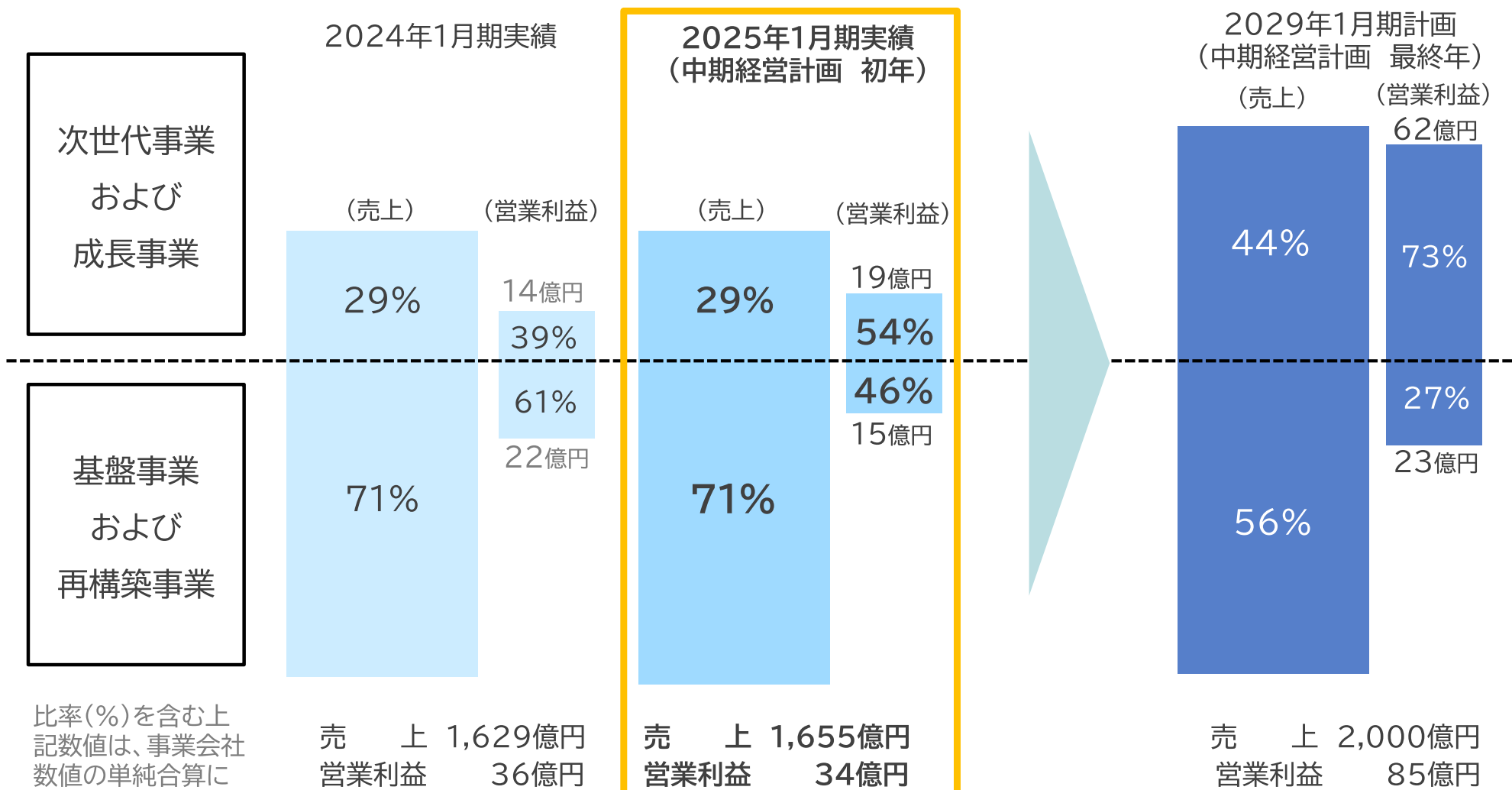
	2025年1月期 計画	2025年1月期 実績	進捗率	達成度
売上高	1,645	1,655	100.6%	達成
営業利益	34	34	99.9%	ほぼ達成
営業利益率	2.0%	2.0%	±0pt	達成
純利益	39	39	100.2%	達成
純資産	513	517	100.9%	達成
ROE	7.8%	8.0%	+0.2pt	達成

(単位:億円 千万円単位を四捨五入して表記)



Ⅱ-3. 当期・2025年1月期の評価サマリー(収益構造の転換)

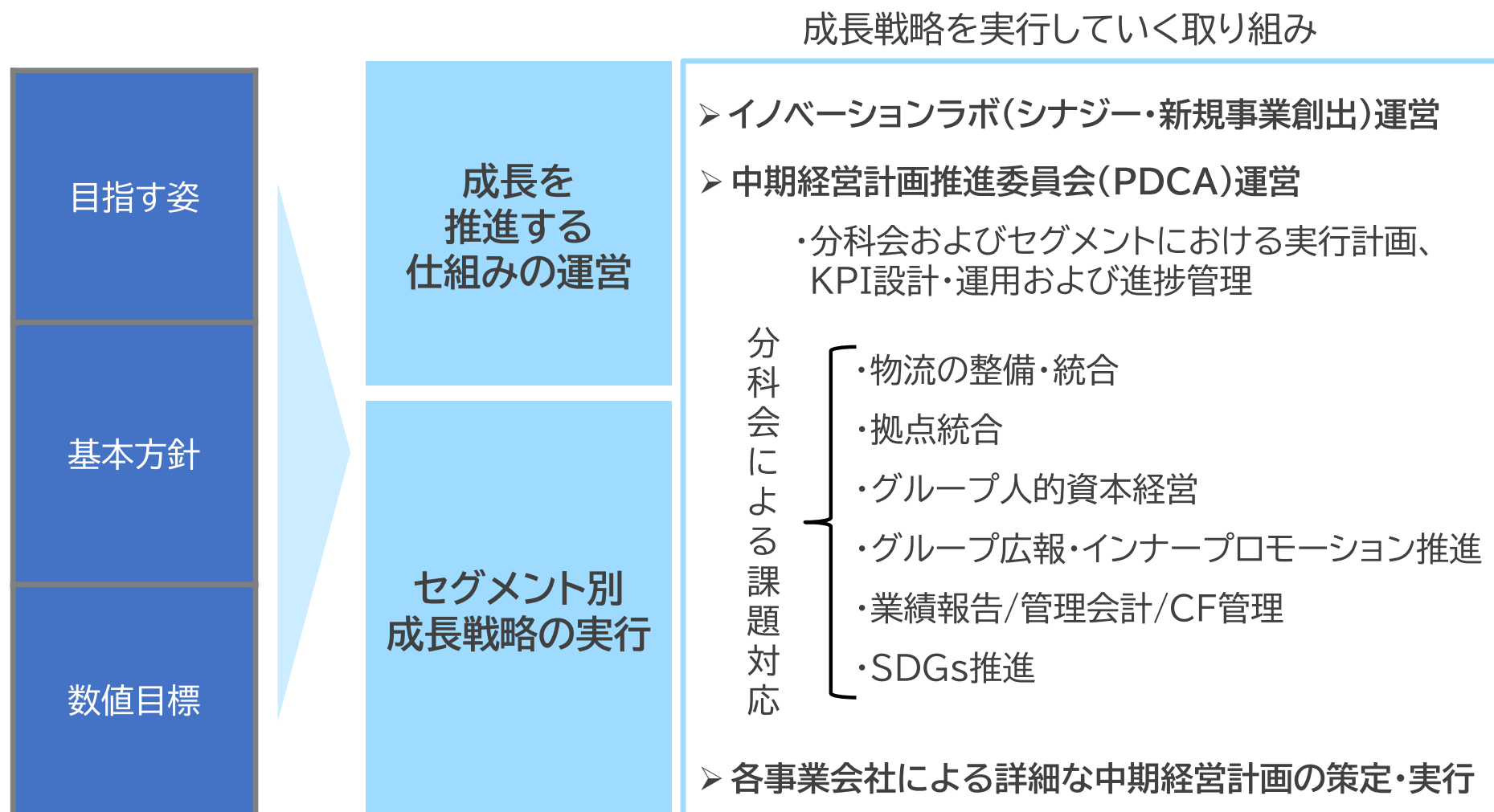
▶ 2025年1月期においては、「次世代／成長事業」の収益に占める割合は上昇し、一定の成果が見られた一方、出版事業を中心に「基盤／再構築事業」に落ち込みが見られ、収益構造の転換推進を加速させる必要があると認識しております。



比率(%)を含む上記数値は、事業会社数値の単純合算による概算値として算出しております。

Ⅱ-4. 当期・2025年1月期の評価サマリー(各施策)

▶ 成長戦略の実行のために具体的な各施策の取り組みと、当期2025年1月の評価・振り返り(次ページ)は次のとおりです。



Ⅱ-4. 当期・2025年1月期の評価サマリー(各施策)

評価・振り返り

主な進捗

- 新規事業創出プロセスに関する体制整備が進んだ。
- 中期経営計画推進委員会(各経営課題別分科会含む)により、グループ全体での現状認識と課題共有が進捗した。
- 中期経営計画の目標値について、各セグメントの主要事業別KGIおよびKPIの策定が進み、各領域での目標や進捗管理手法のグループ内での共有が進んだ。
- 店舗・ネット販売事業セグメントで、基盤となる書籍販売を維持しつつ、成長領域が伸長しポートフォリオ変革による収益構造改革に進展が見られた。

課題

- [基盤／再構築]領域が厳しく推移していることも含め、[次世代／成長]領域で一層の取り組み加速が必要な状況。
⇒新規事業創出への参加者、M&Aの体制強化などの対応が必要
- KPIについて一定の整備は進んだが、より有効な進捗管理のための精緻化、目標との紐づけの明確化などが必要。
- 上記の取り組みのほか、一部分科会テーマに遅れもあることから、各施策の推進のための人材補強が必要。

Ⅱ 中期経営計画の進捗状況

[2] 2025年1月期の施策

グループ横断の新規事業創出ワークショップの開催

2024年5月より開始した新規事業創出への取り組みの成果を、事業会社と共同にて、体制を構築し、事業化を進めるとともに、中期経営計画2年目においては、本取り組みの充実化をはかってまいります。

2025年1月期における新規事業創出への取り組み結果

PoC実施決定事業

5 事業

- 当社グループの既存事業領域や隣接領域におけるアイデア創出
- 事業会社混成チーム編成による事業案の精緻化
- 5事業案の選出とPoC計画策定・実施

効果

- かつてない濃度の事業会社間交流
- 事業化・リーダーシップスキル習得
- 既存事業へのモチベーション向上

課題

- 事業開発のスピード
- 顧客ニーズの深掘り
- 多様性や新しいテクノロジーの活用

2026年1月期における新規事業への取り組み方針

よりオープンな取り組みとし、新しい事業の創出を「より身近な存在にしていく」

方針

- ビジネスコンテスト化による新規事業創出への取り組みの全社化
- 稼働時間の確保による新規事業取り組み環境の充実
- 外部の視点や知見の積極的な活用

丸善ジュンク堂書店アプリのリリース

(株)丸善ジュンク堂書店では、hontoアプリの後継として、2024年12月に丸善ジュンク堂書店アプリをリリースしました。今後は、アプリを活用して、さらに会員獲得を進めながらネットサービスの拡大を図ってまいります。



丸善ジュンク堂書店アプリ 主な機能

- hontoカードをアプリで表示
- ほしいものリスト
- 丸善ジュンク堂書店グループ系列全店舗の店頭在庫検索
- 書籍や一部雑貨商品の店舗お受け取りサービス(お取り置き・お取り寄せ) など

今後のネットサービスの拡大予定

- ネット通販サービス
- 「紙の本」に関する便利な機能
My本棚・レビュー・新刊お知らせメール(著者新刊お知らせ)など



丸善リサーチの会員数が順調に伸長

デジタル技術を活用し、書籍コンテンツを利用者に最適なかたちで提供する新サービスとして「丸善リサーチ」をスタート。まずは税務・会計分野から事業を立ち上げています。



- ・「丸善リサーチ」は、当社グループの(株)丸善リサーチサービスと、(株) Legal Technologyが共同にて2023年10月に提供を開始した会計・税務書籍の読み放題サービス。
- ・信頼性の高い電子書籍/雑誌を利便性高い機能を持ったビューワーで提供し、会計・税務のリサーチ業務を効率化。
- ・公認会計士・税理士・M&A専門家・経理実務担当者を中心に、法人・個人会員数は、サービス開始1年で、5,000名を突破。
- ・提携出版社数24社、書籍数600冊(2025年1月末現在)を超え、書籍ラインナップおよびコンテンツの拡充に注力。



丸善リサーチ画面イメージ

財務会計基準機構・日本公認会計士協会の許諾を取得

丸善リサーチにて
**会計基準や適用指針、
実務指針等を掲載開始**

2024年版
精選 会計監査基準シリーズ
**会計監査の
基本基準**
企業会計審議会 / 日本公認会計士協会

独自編集によるコンテンツも収録

Ⅱ-6. 当期・2025年1月期の施策 セグメント別取り組み(1)

◆文教市場販売事業

2025年1月期における主たる取り組み内容		中計基本方針
5月	<ul style="list-style-type: none"> 丸善雄松堂(株)と奈良県教育委員会 高校生2万人へ電子書籍を活用した新しい「まなび」の場を提供開始～丸善雄松堂の電子図書館サービス(Maruzen eBook Library)を活用して いつでも・どこでも新たな知識の習得を支援 	②成長領域の創出
5月	<ul style="list-style-type: none"> 丸善雄松堂(株)はピアソン・ジャパン(株)と電子教科書サービスの事業検証を開始～ICT技術を活用した学修環境の構築・教育のDX化を支援～ 	③収益構造の転換
7月	<ul style="list-style-type: none"> 国内導入実績No.1の電子図書館サービス「LibrariE & TRC-DL」にオトバンクのオーディオブックを搭載 読書バリアフリー推進に向けて連携【SDGs 読書プロジェクト】「誰もが読書をあきらめなくてよい社会」の実現を目指す (株)図書館流通センター) 	②成長領域の創出
8月	<ul style="list-style-type: none"> 国内導入実績No.1の電子図書館サービス「LibrariE & TRC-DL」 導入自治体数400件突破 日本の総人口約55%が利用可能(株)図書館流通センター) 	②成長領域の創出

Ⅱ-6. 当期・2025年1月期の施策 セグメント別取り組み(2)

◆店舗・ネット販売事業

2025年1月期における主たる取り組み内容		中計基本方針
3月以降	<ul style="list-style-type: none"> アニメ・ホビー商材を取り扱う「駿河屋」FC展開。 3月「駿河屋 梅田茶屋町店(梅田店内)」、「駿河屋 天文館店」オープン 11月「駿河屋 名古屋栄店(丸善書店名古屋本店内)」オープン (25年1月末現在 合計6店舗運営) 	<p>②成長領域の創出</p> <p>③収益構造の転換</p>
4月以降	<ul style="list-style-type: none"> 大人も楽しめる絵本と雑貨の空間「EHONS」展開 4月 EHONS IKEBUKURO・EHONS HIROSHIMA2店舗同時オープン 6月 EHONS KICHIJOJI オープン 7月 EHONS SHIZUOKA オープン 9月 EHONS ABENO オープン (25年1月末現在 合計8店舗運営) 	<p>②成長領域の創出</p> <p>③収益構造の転換</p>
5月	<ul style="list-style-type: none"> ジュンク堂書店 高松店内に「ガシャポンバンダイオフィシャルショップジュンク堂書店高松店」がオープン 	<p>②成長領域の創出</p> <p>③収益構造の転換</p>

Ⅱ-6. 当期・2025年1月期の施策 セグメント別取り組み(3)

◆店舗・ネット販売事業(つづき)

2025年1月期における主たる取り組み内容		中計基本方針
7月	<ul style="list-style-type: none"> 丸善ジュンク堂書店ネットストアにて店頭在庫検索・お取り置きサービスを開始 	②成長領域の創出
12月	<ul style="list-style-type: none"> 「丸善ジュンク堂書店アプリ」の提供を開始 	②成長領域の創出



丸善ジュンク堂書店の
公式アプリが
登場

アプリでポイントカード
が利用できます



詳細検索や
カテゴリ検索もできます



お近くの店舗を
かんたんに検索できます



最新のお知らせを
プッシュで受け取れます



丸善ジュンク堂書店アプリ

◆図書館サポート事業

2025年1月期における主たる取り組み内容		中計基本方針
6月	<ul style="list-style-type: none"> 軽自動車の移動図書館車「LiBOON」第1号(宮西達也氏デザイン)を久喜市に納車(株図書館流通センター) 	②成長領域の創出
12月	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の新時代を拓く、次世代ロボットがもたらす新しい体験の実現 図書館運営における次世代ロボット「temi」の実証実験開始(株図書館流通センター) 	②成長領域の創出






自立走行する次世代ロボット「temi」(写真)

- 図書館内で「告知(おはなし会、イベントなどのアナウンス)」「巡回(事前登録による館内巡回、閉館案内、声掛け)」「案内(事前登録されたエリアへの案内)」などをおこない、運営業務の一部での活用する実証実験プロジェクトを実施しています。
- 対象施設は、東京都内にある2か所の区立図書館のほか、図書館流通センター本社内にて、実証実験(期間2024年11月から6か月間)をおこなっています。


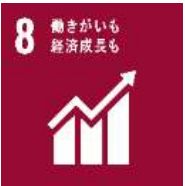

◆セグメント間連携での取り組み

2025年1月期における主たる取り組み内容		中計基本方針
2月	<ul style="list-style-type: none"> 大日本印刷(株)と丸善雄松堂(株) 福井県敦賀市と多面的な街づくりで連携協定を締結～デジタル技術や空間づくりの実績を活かし、市の文化や歴史に関する学びや観光の新体験を創出～ 	<ul style="list-style-type: none"> ①グループ資産活用 ②成長領域の創出
5月	<ul style="list-style-type: none"> 公民連携の手法による新たなまちづくり交流拠点の推進 ～沖縄県南城市「南城佐敷(なんじょうさしき)・玉城(たまぐすく)IC周辺地区整備事業」基本協定締結～ (丸善雄松堂(株)、(株)図書館流通センターほか) 	<ul style="list-style-type: none"> ①グループ資産活用 ②成長領域の創出
9月	<ul style="list-style-type: none"> 丸善雄松堂(株)は北九州で「知の拠点」の運営を実施。(株)丸善ジュンク堂書店の丸善リバーウォーク北九州店を拠点に産官学民が連携した「まなびの活動」を展開。 	<ul style="list-style-type: none"> ①グループ資産活用 ②成長領域の創出
9月	<ul style="list-style-type: none"> 法務省、丸善雄松堂(株)及び(株)丸善ジュンク堂書店 連携協力協定を締結 ～第74回“社会を明るくする運動”「産官学連携 再犯防止推進 安全・安心な社会を目指すシンポジウム」の開催～ 	<ul style="list-style-type: none"> ①グループ資産活用

Ⅱ-7. 当期・2025年1月期の施策 サステナビリティへの取り組み(1)

マテリアリティ	2025年1月期における主たる取り組み内容
<p>教育・学習機会の促進への対策</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 電子図書館サービス・カウンター対応の工夫・アウトリーチサービス(宅配・移動図書館サービスなど)・外国語の利用案内の配布・やさしい利用案内の配布・どなたにもやさしい本のコーナー設置・各種バリアフリーサービスの実現にむけた取り組み。(株)図書館流通センター) 「子どもたちに図書館が楽しい場所であることを知って欲しい」という願いのもと、『図書館のひみつ』を制作し、全国の小学校・特別支援学校と公立図書館・児童館への寄贈。(株)図書館流通センター) 電子書籍の提供先拡大と電子書籍化数の拡大(丸善出版株)
<p>知のインフラ構築とイノベーション推進</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 「LibrariE & TRC-DL」にオトバンクのオーディオブックを搭載。契約図書館での声での読書機会の提供に貢献。(株)図書館流通センター) 「全ての人が図書館サービスの恩恵を受けられるように」という想いを込めた軽自動車の移動図書館車「LiBOON」(リブーン)の普及。(株)図書館流通センター) 生涯学習プラットフォームを通じたリカレント教育・生涯学習の機会提供(丸善雄松堂株) WEBやアプリを通じて、全国どこからでも書籍在庫の検索が可能となる仕組みの再構築(株)丸善ジュンク堂書店)
<p>知の業界・地域・社会とのパートナーシップ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館関係者に対し、AI活用に関し、実践を通じて知り、感じてもらうための事業の企画・開催やパッケージ化を推進。(株)図書館流通センター) 法務省の提唱する、「社会を明るくする運動」に参加し、店頭スタッフが「幸福(しあわせ)の黄色い羽根」を着用し、広報協力。また、「産官学連携再犯防止推進 安全・安心な社会を目指すシンポジウム」に参加。(丸善雄松堂株、株)丸善ジュンク堂書店) こどものまなび事業や社会人向けリカレント、リベラルアーツに関する大学とのプログラム、メソッドの共同開発(丸善雄松堂株)

Ⅱ-7. 当期・2025年1月期の施策 サステナビリティへの取り組み(2)

マテリアリティ	2025年1月期における主たる取り組み内容
<p>人類の尊厳と 多様性の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭に様々な環境の変化が訪れても家庭と仕事を両立できる環境づくりの推進し、えるぼし「3段階目」の取得(株図書館流通センター) 研修センターを東西に新たに設置し、スキルアップや、業務上の相談などをしやすくする体制を構築。店長やセンター長ポジションへの女性管理職の積極的な登用(株丸善ジュンク堂書店) 男女管理職登用の均等化推進(丸善出版(株))
<p>安全で活力ある 職場の実現</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 丸善雄松堂(株)、(株丸善ジュンク堂書店)の本部事務所を移転(2024年7月)。新オフィスでの職場環境改善と、2社同一ビルへの入居でグループコミュニケーションを活性化。(丸善雄松堂(株)、(株丸善ジュンク堂書店) 行動規範の通知と、評価制度の刷新により、意見の言いやすい風土、事業アイデアが生まれやすい会議体や仕組みづくりにより、働き甲斐のある職場づくりを進める。(株丸善ジュンク堂書店) 年間休日を増やし、従業員のワークライフバランスの充実を推進。(株丸善ジュンク堂書店)
<p>地球環境の保全と 気候変動への対策</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 受託図書館で図書館運営における環境負荷低減の取り組みを促進するため、TRCグリーンライブラリー賞を設置し、取り組みを評価。(株図書館流通センター) 書店においてSDGs関連書籍のフェアを定期的に行う。リサイクルやアップサイクル、オーガニック・NonGMO・環境・人権配慮などSDGsにまつわる様々な書籍や、関連商品、ピンバッジ・マグネット等販売。(株丸善ジュンク堂書店)



Appendix



MARUZEN CHI Holdings

当社グループ事業会社とセグメントマッピング

グレー表示は、連結対象主要孫会社

事業会社	セグメント	文教市場 販売事業	図書館 サポート事業	店舗・ネット 販売事業	出版事業	その他事業
丸善雄松堂		丸善雄松堂(株)				丸善雄松堂(株) (株)第一鋼鉄工業所 (株)編集工学研究所
図書館流通センター		(株)図書館流通センター (株)図書館総合研究所			(株)岩崎書店	(株)明日香 グローバルソリューションサービス(株) (株)図書館流通
丸善ジュンク堂書店			(株)丸善ジュンク堂書店 (株)淳久堂書店 台湾淳久堂股份有限公司			
丸善出版					丸善出版(株) 丸善プラネット(株)	
丸善リサーチサービス						(株)丸善リサーチサービス



MARUZEN CHI
Holdings

本資料には、当社および当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。